



か ゼ 令志の旋風 ~自律貢献~

令和7年10月10日(金) No 22 発行
文責: 松本 阜也

自分と向き合いましょう 伝える勇気を持ちましよう 知りましよう

4日(土)、熊本県人権子ども集会が熊本県立劇場で開催されました。この集会は、「熊本県人権教育・啓発基本計画」の主旨を踏まえ、児童生徒を主体とした活動を通して、全ての人々の人権意識の高揚を図るとともに、部落差別をはじめあらゆる差別をなくし、人権が共存する人権尊重社会の実現を目指すことを目的として1997年度から開かれているものです。県内の小学校、中学校、特別支援学校、高等学校の代表が、体験・活動報告を行った後、実行委員より集会メッセージが発表されました。

私たちは「結(ゆい)～輝き方は無限大～」という集会メッセージを作りました。メインテーマである「結(ゆい)」には、人とのつながりを大切にしてほしいということと、サブテーマである「輝き方は無限大」には、個性や人権に対する行動は無限大にあるという想いを込めました。

皆さん、差別や偏見をなくしていくために、どのような行動をしていますか。自分の気持ちに素直になることができていますか。相手のことをしっかりと見ることができますか。差別や偏見をなくしていくためには、自分を出すこと(自分の個性や想い、考えを表現すること)、そして、相手に知つてもらうことが大切です。

今も、差別や偏見で苦しんでいる人がいます。差別や偏見をなくしていくには、自分自身だけでなく他の人も一緒に行動することが大切です。だから、一人一人が自分にスポットライトを当てて輝くことができるよう、
○自分と向き合いましょう

相手と向き合うには、自分とも向き合わなければいけません。向き合うことで自分を知るきっかけにもなります。また、知ることで自分のことと相手のことを理解しつながる一歩になります。

○伝える勇気を持ちましよう

一人一人が輝くためには、自分を出す必要がありますが、無理に出す必要はありません。しかし、互いに認め合うには自分を出さなければなりません。必ず認めてくれる人がいるから勇気を持ってほしいと思います。

○知りましよう

相手を知ることで、相手の新たな一面を見るすることができます。その人のことを知るだけで自分が持っていた差別や偏見が少しでも減るかもしれません。自分でバリアを張らずに友達や学校の先生、家族のことを知っていきましょう。

人権に対する行動は一つだけではなく、無限にあります。例えば、学ぶこと、つながること、伝えること、どんなに小さなことでもいいので、一歩を踏み出しましょう。また、人とのつながりを大切にし、差別をなくす一歩にしていきましょう。人は、差別や偏見、いじめを自分で気づくのは難しいと思います。もし、気づいたときには、自分や他の人と相手のことを考え、知つてもらいたいと思います。

また、一人一人が心の輪を広げ、結んでいくことで、世界はより輝くことができます。一人一人が主役のように活躍できる学校や地域を作っていくましょう。

そして、部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくし、人権を大切にする社会をみんなで作っていきましょう。

令和7年度(2025年度)熊本県人権子ども集会子ども実行委員一同



私たちは、誰もが人として同じ価値があり、幸せに生きる権利を持っています。それを脅かすのが「差別」です。この集会の模様は、後日オンラインで配信されます。全校生徒で参加し、学びを深めます。集会メッセージに込められた想いを受け止め、差別をなくしていく一歩を共に踏み出していくましょう。

【編集後記】通知表をお渡しました

▼本日、担任より通知表をお渡しました。通知表は、お子さまの学習の達成状況や学校での生活、活動の様子をお知らせするものです。▼ぜひ、ご家庭での生活や学習の様子も振り返りながら、お子さまと目を通して頂ければと思います。これまでの頑張りや成長を認めたり、今後への課題について話し合ったりする等、保護者の方からの称賛や励ましは、お子さまの自信とやる気につながります。▼この通知表が、お子さまのよりよい成長につながることを願っています。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名 ()